

## 2014年度 第3回 CPC 研究会

日 時: 7月11日 (金) 13:30~16:30

会 場: 連合会館 201 会議室

(〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-2-11 TEL: 03-3253-1771)

参加費: 維持会員・大学官公庁関係=無料 / 非会員=15,000 円

<http://cpc-society.org/>

13:30 ~ 14:55

「電気二重層吸着法による希薄水溶液中の各種イオンの除去技術」

関西大学

小田 廣和 氏

- 1) 研究の背景および今日までの成果
- 2) 実用性への展開
- 3) 捲回型装置の試作とその性能
- 4) 今後の展望

水資源と生活用水の確保は、世界的に重要な問題です。電気二重層キャパシタの原理を用いた水処理技術の特徴は、低電圧で環境への負荷が少なく、かつ電極の再生利用が容易なことにあります。電極材料として多孔性炭素材料を用い、希薄水溶液からの各種イオンの除去・脱離現象、電極の再生特性や回収イオンの濃縮操作についても説明します。除去量が電極の細孔構造および電解質の水和イオン半径に依存することなどを示し、さらに実用的な装置への展望について紹介します。

15:05 ~ 16:30

「CNT を用いた次世代二次電池 (LiS 電池) の実用化開発」

株式会社 アルバック 村上 裕彦 氏

- 1) 研究の背景
- 2) CNT 電極を利用した次世代二次電池
- 3) 超高容量 LiS 電池の現状と課題
- 4) まとめ

近年、モバイル端末の普及や環境問題に対応した電気自動車の研究開発に伴い、高容量の二次電池が要望されています。その次世代二次電池の候補として、LiS 電池が注目されています。その理由は、S 正極の理論容量が従来のリチウム二次電池の LiCoO<sub>2</sub> 正極容量と比較し約 10 倍大きく、かつ、資源が豊富で安価という利点にあります。ここでは、LiS 電池の実用化には、CNT 電極の利用が有効であること、また、今後の実用化までの課題についても紹介します。

---

CPC 研究会講演会事務局行 FAX: 029-861-8712 または e-mail: [sec@cpc-society.org](mailto:sec@cpc-society.org)  
7月11日の研究会に出席します(連合会館 201 会議室)

お名前: 維持会員 非会員 大学関係

ご所属:

Tel:

Fax:

E-mail: